

かるまいの議会だより

No. 207

平成 28 年 10 月 26 日



主な内容

📁 特集〔平成 27 年度決算審査〕

総額 80 億円余の決算認定 2

📁 台風 10 号被害を視察 7

📁 一般質問に 3 人が登壇 10

📁 インタビュー「かるまい町に住んでみて」 16

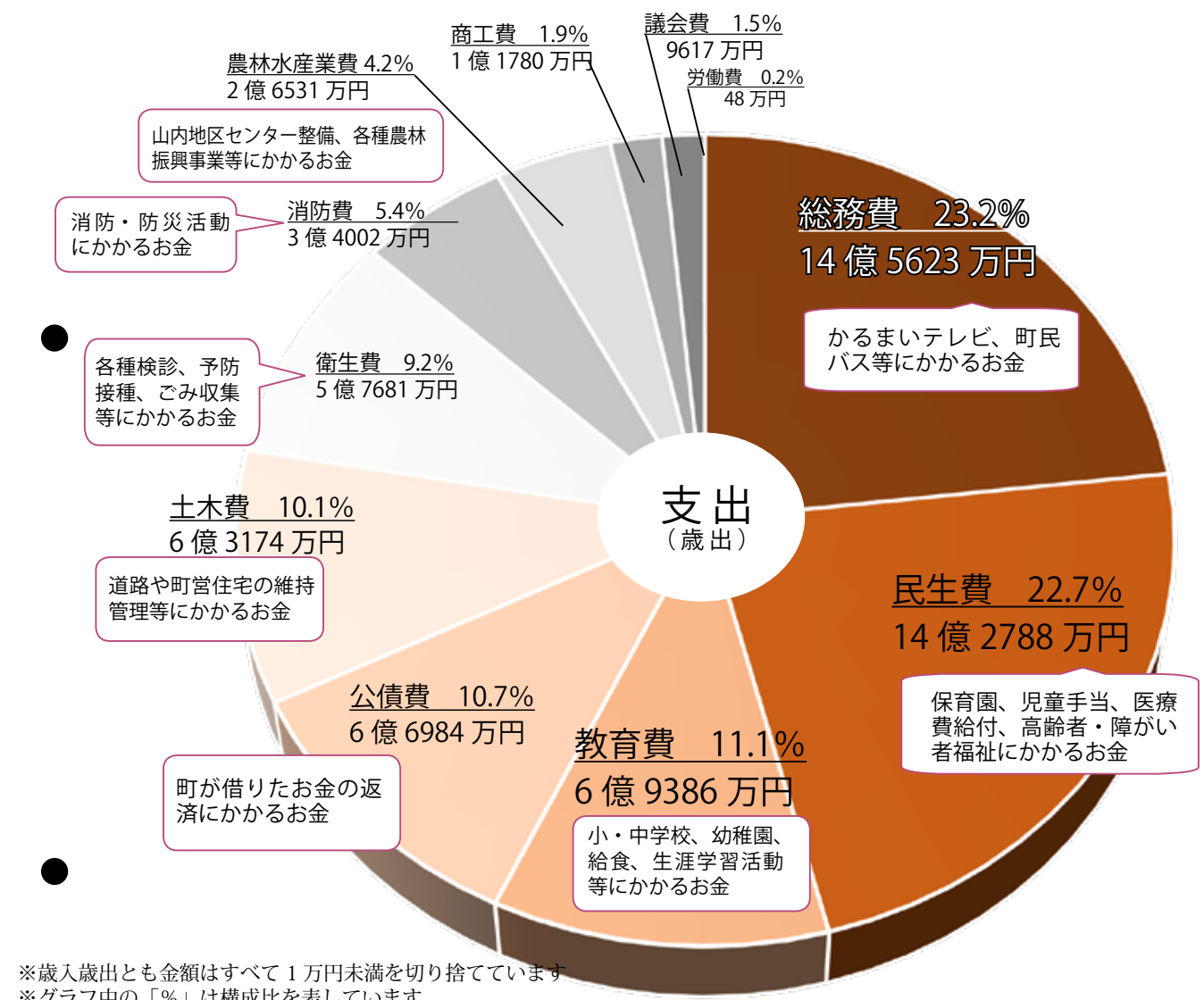
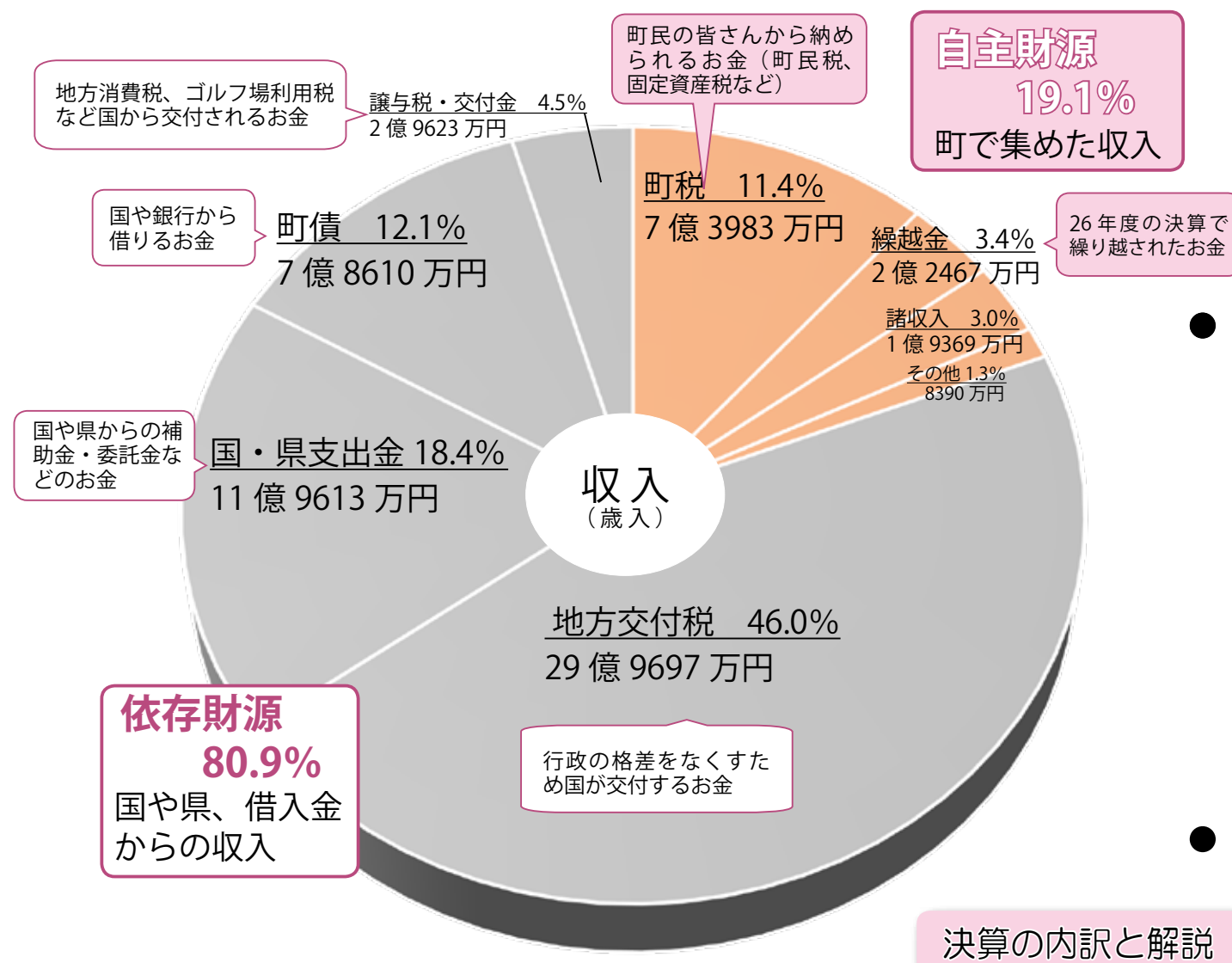
若駒のはじける笑顔

町民体育祭で披露される町内園児による「駒踊り」。子どもたちののはじける笑顔は、親御さんだけでなく、会場にいるみんなを元気に、幸せな気分させてくれます。

(平成 28 年 10 月 9 日；町民体育祭)

平成 27 年度決算すべてを 認定 税の公平性、国保の 一層の健全経営を

特別一般 5 会計歳出総額は 80 億 8 8 7 2 万円

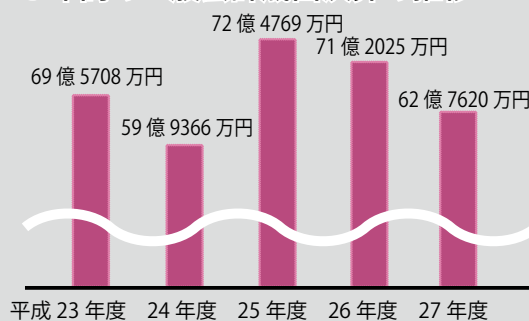


平成 27 年度会計別決算の状況

会計区分		歳入 (収入)	前年度比較	歳出 (支出)	前年度比較	
一般会計		65 億 1755 万円	△ 8 億 2738 万円	62 億 7620 万円	△ 8 億 4405 万円	認定
特別会計	国民健康保険	15 億 1317 万円	1 億 5661 万円	15 億 877 万円	1 億 5188 万円	認定
	下水道事業	1 億 5649 万円	331 万円	1 億 5223 万円	677 万円	認定
	介護保険	6805 万円	△ 381 万円	6524 万円	△ 305 万円	認定
	後期高齢者医療	8986 万円	△ 17 万円	8626 万円	△ 55 万円	認定
特別会計の合計額		18 億 2758 万円	1 億 5593 万円	18 億 1252 万円	1 億 5805 万円	—
水道事業会計	収益的	4 億 1113 万円	2318 万円	3 億 8934 万円	1186 万円	認定
	資本的	2 億 27 万円	△ 1664 万円	4 億 69 万円	2007 万円	

※金額はすべて 1 万円未満の金額を切り捨てていますので、合計とは一致しません。

5 年間の一般会計歳出決算の推移



9 月定例会では、平成 27 年度軽米町一般会計歳入歳出決算のほか 4 特別会計と、水道事業会計の決算認定案件が提出されました。

決算等審査特別委員会を設置し、慎重に審査を実施しました。一般会計決算に一部反対もありましたが、全会計とも認定しました。



除雪トラック更新
1573 万円

トラック型の5トン級除雪車を1台更新し、除雪体制の強化を図りました。

平成 27 年度 一般会計決算書から 注目事業を ピックアップ



昭和 30 年の町村合併から 60 年を迎え記念式典等を開催。また同 60 年に姉妹締結した北海道音更町との各種町民交流事業に対して助成しました。(写真左は、音更町での両町町民交流会の様子。写真右は、音更町での小学生野球交流大会の様子)



**軽米町町村合併 60 周年
音更町姉妹締結 30 周年**
832 万円



保育施設 L E D 街灯
1353 万円

軽米保育園と小軽米保育園に太陽光で発電し点灯する L E D 街灯を新たに 5 基設置しました。



食フェスタ in かるまい
169 万円

平成 27 年度には、会場を初めてハートフル・スポーツランドで開催し、たくさんの来場客でにぎわいました。



**協働参画地域づくり
チャレンジ事業**
66 万円

チャレンジ事業では 2 団体に対し、合計で 66 万円を助成しました。(写真は、折爪岳山麓で活動する「湧口倶楽部」の様子)



**エゴマ産地確立推進事業費補助・
6 次産業化拡大支援事業費補助**
181 万円

エゴマの生産拡大と搾油機導入による 6 次産業化事業に対して助成。(写真は、軽米小学校で行うエゴマの収穫風景)

聞いてみました まちの声 おらにも 言わせて!!

若い人へ町の賑わいを

若い人たちが「ふるさと軽米に戻りたい」と思えるようなまちづくりを期待します。仕事も重要ですが、人の温かさや趣味を満喫できる生活など、楽しみ方は多様化しています。町の賑わいづくりが絶対不可欠です。



ひとみ
小野寺 瞳 さん
(岩崎 36 歳)

郷土芸能のアーカイブを



まこと
玉館 誠 さん
(屋敷 44 歳)

郷土芸能のアーカイブ(※)が緊急課題です。伝承する人が高齢化や亡くなったりで、踊り、唄、衣装など、記録保存・活用し、未来へ伝達する責務があります。祭りのビデオだけでは不十分です。いずれ急ぎましょう。

※アーカイブ…記録、履歴の意味で、公文書などの紙媒体のほかデジタル情報を意味します。

高校通学手段への補助を

高校生の子を持つ親として、軽米高校生のバス通学助成とともに、バイク通学や自家用車送迎にも補助を考えてほしい。ほかに合同でのタクシー通学なども良いのでは。中学校が統合し、部活やスポ少活動で土・日に自家用車で送り迎えすることが多く、配慮がほしいですね。最後に町内に入浴施設が無いので寂しいです。隣接市町村に行っている人も多いですよ。(下晴山、40 代、女性)

特別委員会

4日間（9月12日～15日）にわたり慎重審議

27年度決算などここが聞きたい

決算と補正に一部反対も、全議案を可に



本田 秀一
特別委員長

【9月定例会】
平成27年度軽米町一般会計
歳入歳出決算等審査特別委員会
委員長報告

一部に反対も、全議案を可に

議案第3号、27年度一般会計歳入歳出決算の認定では資料を37件要求。異常気象発生時の住民への伝達体制の在り方、百人委員会の実施状況と成果等の検証、フォリストパークチューリップ園の入園料収入は(株)軽米町産業開発ではなく軽米町観光協会へ見直しを図るべきなどの質疑があった。議案第9号、平成28年度一般会計補正予算（第2号）では、「(仮称)かるまい交流駅」建設検討委員会などの資料15件を要求するなど、活発に議論した。

また、台風10号による被害状況についての概要説明と、現地視察も実施した。

一部反対のあった議案第3号と第9号は賛成多数で、他の議案は全会一致ですべて可と決した。

も議論し対応を検討。

百人委員会意見
予算編成に反映

(問) 監査委員意見にもあった、組織体制の見直しの考えは。

(総務課長) 構想段階にあるが、実施に向けては今後検討していく。

(問) 行政改革推進委員会委員謝礼に不用額があるが、議論不足となっていないか。

(総務課長) 委員数の減や会議欠席などで当初予定どおりでなかった。資料を事前配布し内容は理

(問) 地域懇談会に代えて実施している百人委員会の今後の方向性は。

(総務課長) 11月に開催し、意見等を次年度の予算編成に反映させたい。

(問) いわて第2クリーンセンター(九戸村)と公害防止協定の締結を。(町長) 二戸広域の中で

(問) 福祉タクシー券の利用できる基準は。

(健康福祉課長) 満8歳の誕生日から、月2回まで利用できる。

(問) クリーンアップデーを町が主導しては。

(町民生活課長) 衛生組合を通じ、各地区に同じ内容で自主的に取り組んでいただいている。

(問) ごみの減量化と廃プラスチック回収の今後

の取り組みは。

(町民生活課長) 減量化へ生ごみ分別を継続実施。廃プラ回収は近隣市町村の情報を集めたい。

(問) 新農業委員会制度の実施状況は。

(農業委員会事務局長) 農業委員12名に農地利用最適化推進員6名では少ないとの話もあり、制度等について勉強したい。

(問) 青年就農給付金制度の内容は。

(産業振興課長) 年齢45歳未満の新規就農者に年間150万円を5年間補助する。

(問) 町道沿いの草刈りを地区に委託しては。

(地域整備課長) 場所によって危険を伴う場合もあるので業者委託している。

(問) 消火訓練のほか水防団として訓練計画は。

(総務課長) 土砂崩れや水害を想定した訓練や、

避難所の設置訓練等を今後計画したい。

自主防災組織を検討

(問) 消防団のOB制導入、婦人消防協力隊の今後についての考えは。

(総務課長) 将来的に自主防災組織の設置も考えており、OB制、協力隊ともにその在り方を検討していきたい。

(問) 郷土芸能の伝承活動へ予算面や学校での取り組みなどの支援を。

(教育長) 各学校にはできる部分をお願いし文化祭等での発表に取り組んでいる。軽米高校にも働きかけていきたい。

(問) 空き家調査による空き家の活用と、危険家屋への対応は。

(総務課長) 活用できる空き家が少なく、定住促進には定住促進団地等を検討したい。危険家屋等については今後検討。

(問) 野菜農家を育てるため、かつてのハウレンソウのように作物を絞って支援しては。

(町長) 健康志向の高まりに合わせ、雑穀の6次産業化などを支援していきたい。

(問) フォリストパークのチューリップ園の入園料の収納先は。

(産業振興課長) 指定管理者の(株)軽米町産業開発に入る。

(問) 国民健康保険の資格証明書、短期保険証の発行状況は。

(町民生活課長) 資格証明書の発行は無く、短期保険証は114世帯、208名。(27年度末)

(問) 下水道普及率は。(地域整備課長) 水洗化率で37%。(27年度末)

ふるさと納税
目標1千万円

(問) ふるさと納税の新システムでの目標額は。

(総務課担当主幹) 1千万円を目標としたい。

(問) 介護ロボット導入事業とは。

(健康福祉課長) ベッドの背中、腰の部分のセンサーで起床や寝返り記録を管理できる。町内の介護事業所3施設に導入を予定。

(問) 災害時の住民周知マニュアルの整備は。

(総務課長) 避難勧告等の告知手順や災害対策本部設置等について平成26年度に作成している。

(問) 雪谷川ダムが越流する際のサイレン等の仕組みは。

(産業振興課長) 越流で下流に著しい影響がある場合にサイレンが鳴る。

(問) 農地小規模災害について説明会の時期は。

(産業振興課長) 現段階で現場を把握できていない。年内の早い時期には行いたい。



台風10号による被害状況を視察

8月30日から31日にかけて東北・北海道を襲った台風10号により、本町での被害状況を調査するため、同委員会では9月14日午後の審議を中断し、現地調査を実施しました。

主に米田地区と小玉川地区を調査し、沢が氾濫し住宅前が根こそぎ削り取られた様子や、土砂で埋まった田んぼ、道路・路肩の決壊、水道施設の被害などを目の当たりにしました。



【左上】道路路肩の決壊（米田地区）
【右上】住宅前の地盤流失（米田地区）
【右】川の氾濫でフェンスが損壊（小玉川生活改善センター前）
【右下】林道の土砂流失（小玉川地区）
【下】町担当者の説明を受ける



《9月定例会》 討論と採決結果

※本会議場の討論で、反対意見のあった「第3号」と「第9号」について掲載します

町民の思いを汲み取れ

【議案第3号】 協働参画のまちづくりと言いながら、第5次行政改革大綱は子育て支援や福祉施策を後退させる内容である。国民健康保険の短期保険証発行や固定資産税の収入未済額が増えるなど弱者への配慮がみられない。町政へ参加しようとする意欲、思いを汲み取っていない町政全体に対して反対する。

議案3号、9号に

反 対



古舘機智男

課題解決へ努力約束

【議案第3号】 詳細かつ多くの資料等により、各議員相互の十分な審議により課題等も見いだされた。検討課題については、今後、副町長を先頭に町民課題の解決に向け努力することが特別委員会 で約束された。マンパワー不足については、監査委員指摘のグループ制の見直しも含めた組織の再編と、後継者育成を考慮した人事異動に努め、次年度での実現を期待し、賛成する。

全議案に

賛 成



中村 正志

「交流駅」検討委員会に町民の協働参画を

【議案第9号】 補正予算そのものよりも「交流駅」構想は待望の文化的施設であり多額の費用も見込まれる。しかし検討委員会の公募は2名のみで協働参画にはほど遠く、政策過程を無視しては未来につながらないので反対。

本会議での表決 (賛成：○、反対：×)

議 員 名 議案名 (○数字は議案番号)	中里 宜博	中村 正志	田村 せつ	川原木 芳蔵	上山 勝志	館坂 久人	茶屋 隆	大村 税	松浦 満雄	本田 秀一	細谷地 多門	古舘機 智男	山本 幸男	賛成	反対	結果	採決日
同意①教育長の任命 (菅波俊美氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	同意	9月6日
同意②教育委員の任命 (戸草内勝夫氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	同意	
①契約 (デジタル防災行政無線整備2期工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	可決	
②税条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	可決	
③27年度一般会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	11	2	認定	9月16日
④27年度国民健康保険特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	認定	
⑤27年度後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	認定	
⑥27年度介護保険特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	認定	
⑦27年度下水道事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	認定	
⑧27年度水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	認定	
⑨28年度一般会計補正予算 (2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	11	2	可決	
⑩28年度国民健康保険特別会計補正予算 (1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	可決	
⑪28年度介護保険特別会計補正予算 (2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	可決	
請願陳情⑦安保関連法の具体化と発動に反対し、南スーダンから自衛隊部隊の撤退を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	採択	
請願陳情⑧少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	採択	
⑫損害賠償と和解 (某たばこのビニールハウス1棟) ※追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	可決	
⑬28年度一般会計補正予算 (3号) ※追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	可決	
発議①安全保障関連法の具体化と発動に反対し、南スーダンからの自衛隊部隊の撤退を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	可決	
発議②少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	可決	
発議③私学助成の充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	可決	

9月定例会で決まったこと

【請願陳情第7号】

※件名：「安保関連法の具体化と発動に反対し、南スーダンから自衛隊部隊の撤退を求めることについて (陳情)」

※要旨：憲法第9条に違反する安全保障関連法の具体化と発動に反対し、南スーダン P K O に派遣が予定されている自衛隊の安全確保を考慮し、部隊の撤退を政府に求めてほしい

※陳情者：平和を望む軽米ウォーキングの会
代表 竹澤 勳



全会一致

意見書提出

衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、防衛大臣、
外務大臣

【請願陳情第8号】

※件名：「少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願」

※要旨：①少人数学級を推進し O E C D 諸国並の30人以下とすること
②義務教育費国庫負担割合を2分の1に還元すること

※請願者：岩手県教職員組合県北支部二戸地区
代表 荒木裕之

※紹介議員：山本幸男、古舘機智男



全会一致

意見書提出

衆議院議長、参議院議長、
文部科学大臣、財務大臣、
総務大臣

決算審査意見

(平成28年9月6日本会議場)



瀧澤 英敬
代表監査委員

財政運営大いに評価
人材育成にも配慮を

平成27年度の一般会計決算は、実質収支が2億2千万円余りの黒字で、単年度収支でも約3500万円の黒字である。国民健康保険特別会計は一般会計からの法定外繰り入れが7800万円あり、税の公平性の観点から一層の健全運営を望む。基金残高は9千万円ほど増加するなど財政健全化は、将来の負担面などからは良好である。ふるさと支援基金(ふるさと納税)は引

き続きPRされたい。収入未済額はここ数年は縮減しており、取り組み成果と子育て支援策の効果を感じる。負担の公正・公平面から、一層の未済額の縮小に全庁的な取り組みを求める。

増え続ける事務事業に課・グループ制の再編や、後継者の育成と職場環境づくりにも気を配りたい。財政運営は大いに評価する一方で、人事管理の面では更に一考いただきたい。簡素で経済的、効率的な行政運営により、町勢の発展と町民福祉の維持向上を望む。



中村正志



スポーツツーリズムの積極的推進を



交流人口を拡大し、経済効果を
まちの活性化につなげたい



一年を通じて開催されるソフトテニス大会には、岩手・青森県をはじめ町外からも多く訪れています

【問】先のリオ五輪での当町ゆかりの伊調馨選手の史上初の4連覇の偉業に対して、町として顕彰する考えは。

【町長】伊調選手の活躍には大変感動しており、何らかのメッセージ等を検討したい。

【問】スポーツツーリズムに対する町長の取り組みと考え方は。

【町長】芝桜カップの開催などで交流人口の拡大を図っているほか、

【問】大会等の誘致や各種大会の開催で、町の経済効果を生み出すべきと考える。地元産品の活用や宿泊の受入れ、入浴施設の整備で民泊協力などを推進し、スポーツツーリズムを積極的に推進すべきと考えるが。

【問】男女共同参画計画の推進状況は。

【町長】全体的にみて計画は進んでいる。

【問】全庁の人材育成の実施状況は。

【町長】これまでの軽邑塾から新人職員研修に切り替えた。

【問】政策方針決定の役場の最高議決機関である経営会議での女性職員の参画は。

【町長】現時点はなし。

【問】保育園長に保育士有資格者を配置しないのはなぜか。

【町長】管理職登用は、総合的見地で性別に関係ないが、これまでは女性の管理職は少なかった。女性活躍推進法行動計画で女性管理職登用を目標とし、管理職研修に女性職員を積極的に参加させる。

【問】女性団体リーダー連絡会等を開催する考えは。

【町長】連絡会設置ではなく、随時、町長との懇談会を考えたい。



計画目標に
女性管理職登用を



保育園長に
有資格者の配置を



第11回定例会

一般質問に3人が登壇

第11回定例会の一般質問は、9月8日に3人が行い、町当局に対して7項目について質問しました。各議員の質問要旨と町当局の回答・姿勢について紹介します。

質問議員	質問事項
中村正志 (11 ページ)	スポーツツーリズムの推進による交流人口拡大と地域活性化について
	軽米町男女共同参画計画の推進について
田村せつ (12 ページ)	火葬場の施設（待合室）の整備について
	向川原の親水公園の改修について
茶屋 隆 (13 ページ)	地震・大雨・土砂等災害について
	再生可能エネルギーについて
	町長4期目の公約について
古舘機智男 (※2)	防災対策について
	第2クリーンセンターとの公害防止協定について
	交流駅の町民的な合意形成について
山本幸男 (※2)	交流駅構想について

※1 質問要旨や回答内容は要約していますのでご了承ください。

※2 当初、質問通告していた古舘機智男議員と山本幸男議員は、9月9日に行う予定でしたが、前日からの大雨による影響と台風10号による被害への対応を優先させることから質問を取り下げましたので、予定していた質問項目のみ掲載します。



田村せつ

火葬場へエアコン設置と トイレの洋式・水洗化を

問

答 新年度での改修を検討する



設置から40年が経過した町火葬場（写真中央が待合室）

【問】火葬場までの道路はよく整備されているが待合室は建設当時のままで、ストーブはあるがエアコンは無く、トイレも旧式である。町民だけでなく他地域から来る機会も多い。エアコンを設置し、高齢者も楽に使用できる洋式の水洗トイレへ改善してはどうか。

【町長】町火葬場は昭和51年1月に完成以来、管理棟増築や火葬炉修繕、台車の補修のほか、待合室は平成14年に増築し簡易水洗トイレと暖房器具等を整備した。ご指摘のとおり現在エアコンは無く、火葬件数は年間約160件から200件程あり、特に夏場には皆様に不便をおかけしていると思う。エアコン設置とトイレを簡易水洗式の温水洗浄便座へ改修するよう新年度予算で検討したい。

問

向川原親水公園 修繕の取り組みは

答

順次修繕を進めていく

【問】向川原親水公園は平成11年の水害の後、整備され、きれいな赤い屋根の東屋、ベンチ、健康器具など、町にも公園と呼べるものができてとてもうれしく思った。しかし現在は屋根やベンチの色が剥け落ちていて、前回の一般質問では「県と協議し明るいイメージの公園に改修する」との答弁だったが、その後の状況を伺う。

【町長】同親水公園は平成11年10月の豪雨災害の復興事業として県が防災ステーションの一環として整備し、又公園内の東屋、ベンチ、健康遊具等は町が県の順次、修繕等を進める。河川占用許可を受け整備した。15年5月に県と交わした「二級河川雪谷川河川防災ステーション及び二級河川里沢川河川公園に整備した施設の管理に関する協定書」により、町が清掃や保守点検、小修繕などを担い、それ以外を県が維持管理している。整備から10年以上が経過し老朽化が目立つことから、本年4月に県二戸土木センターと協議し、県整備のトイレや街路灯等は県が、河川占用許可による東屋や健康遊具等は町で行うこととした。施設点検を行い、順次、修繕等を進める。



茶屋 隆

大雨・洪水・土砂災害へ 今後の取り組みはいかに

問

答

町防災マップを全戸に配布
自主防災組織の結成を進める



全ページがカラーで大きく見やすく作成された町防災マップ

【問】近年、異常気象等による大雨、洪水、土砂災害等が多発している。8月27日の岩手日報には「土砂災害警戒区域、指定増える県内、的確な避難・活用重要」と市町村の取り組みが重要と掲載された。今回の台風10号の被害も踏まえて、町は今後どのように取り組むのか伺う。

【町長】町の土砂災害警戒区域の指定は、9月2日現在、土石流警戒区域16、急傾斜地の警戒区域21の合計37か所が指定。うち35か所が特別警戒区域に指定されている。これら警戒区域を含む「軽米町防災マップ」を本年3月に全戸に配布した。しかしながら、8月30日の台風10号の暴風雨により、円子、米田地区で土砂崩壊が発生し1名が負傷、2棟の住宅が被害を受けた。警戒区域における住民の防災意識、及び住民への周知が十分でなかった結果であり、今後は災害時の初動体制を担う自主防災組織の結成を進め、土砂災害に対する避難訓練を行うなど、住民の防災意識の高揚を図っていく。

問

メガソーラーの進捗は

答

軽米・西山で事業を開始

【質問】メガソーラ施設建設の進捗状況は。

【町長】8月に小軽米地区の軽米・西山太陽光発電所が事業を開始し、町農山村活性化計画における第1号の事業がスタートした。ほかに山内地区と米田地区の軽米・西山太陽光発電所が事業を開始し、町農山村活性化計画における第1号の事業がスタートした。ほかに山内地区と米田地区の軽米・西山太陽光発電所が事業を開始し、町農山村活性化計画における第1号の事業がスタートした。ほかに山内地区と米田地区の軽米・西山太陽光発電所が事業を開始し、町農山村活性化計画における第1号の事業がスタートした。

問

交流駅に町民意見を

答

建設検討委員会を組織
広く意見を聞きたい

【質問】町長公約の取り組み状況は。

【町長】百人委員会設置による町民総参加の結の精神を基本に、7項目をまちづくりの柱に取り組んでいる。

【質問】「(仮称) かるまい交流駅」について町民への説明と、意見を聞くべきでは。

【町長】建設検討委員会を組織し、広く意見を聞いていきたい。

町議会の動き

(平成28年7月～9月の主要な行事)

月	日	曜	行 事
7月	2	土	パークゴルフはつらつ大会
	7	木	議会運営委員会③
	11	月	第10回軽米町議会臨時会 町政調査会幹事会②、議会報編集委員会⑦
	15	金	議会報編集委員会⑧
	20	水	総務教育民生常任委員会視察研修 (茨城県境町、大洗町、～21日) 産業建設常任委員会視察研修 (北海道北斗市、ニセコ町、～22日)
	23	土	県立軽米病院環境整備ボランティア
	25	月	北部地区町村議会議長会議員研修会(洋野町)
8月	26	火	町村議会夏季議員大学講座(盛岡市、～27日)
	27	水	議会報編集委員会⑨
	29	金	カシオペア連邦議会議員協議会総会・研修会(二戸市)
	12	金	議会運営委員会④
9月	15	月	軽米町成人式
	17	水	議会だより第206号発行
	23	火	二戸地区広域行政事務組合議会議員全員協議会(二戸市)
	30	火	岩手県町村議会議長会・中央研修会(東京都、～31日)
9月	1	木	議会運営委員会⑤
	6	火	第11回軽米町議会定例会・本会議(会期：～16日) 議員全員協議会③、町政調査会幹事会③
	8	木	定例会一般質問、議会報編集委員会⑩
	9	金	議会運営委員会⑥
	12	月	平成27年度軽米町一般会計歳入歳出決算等審査特別委員会(～15日) 町政調査会③、総務教育民生常任委員会③
	14	水	平成27年度軽米町一般会計歳入歳出決算等審査特別委員会による 台風10号被害現地視察調査
	15	木	議会運営委員会⑦
	17	土	軽米町敬老会
	18	日	軽米町消防演習、軽米秋まつり流し踊り
	26	月	北部地区町村議会議長会主催 岩手県選出国會議員への要望活動(東京都、～27日)

議長交際費

※お祝い等(会費含む)

7月3件 9,000円
8月2件 26,600円
9月2件 6,000円

※議長交際費は議長が町議会を代表して対外的な行事等へ参加する際の経費で、主に各団体の総会等の会費です。詳しくは町ホームページをご覧ください。



7月23日(土) 軽米病院環境整備活動

町政調査会
活動報告

※町政調査会とは、議員が自主的な調査・研究・懇親などを目的に組織し活動しています



9月18日(日) 秋まつり流し踊り

総務教育民生常任委員会



報告

本田秀一
委員長

今一度、災害対応の検証を
スライドでの説明を受け、軽米町の平成11年豪雨災害が思い出された。境町では、議長が町災害対策本部に加わり、その情報を全議員と共有。議会として被災状況調査や、被災者への物資配布などに取り組んだ。当町の豪雨災害から17年が経過するが、大規模な自然災害が多発する現在、今一度過去の課題等を検証すべきと感じた。

余りだが、鬼怒川決壊による他の自治体の被害が大きく報道され、同町は「隠れた被災地」になる。9月定例会の最中で議事日程を一部変更、議員は物資配布等のボランティア活動にあたった。災害対策本部員には町議会議長も加わり当局との情報共有が図られている。

産業建設常任委員会



報告

細谷地多門
委員長

研修レポート①

「災害対応と議会」「アニメを活用したまちおこし」

※研修月日 平成28年7月20日(水)、21日(木)
※研修場所 茨城県境町(防災)、大洗町(まちづくり)
※参加委員 本田秀一、中里宜博、中村正志、田村せつ、古舘機智男、松浦 求



関東・東北豪雨災害に見舞われた境町の橋本正裕町長(左から3人目)にお見舞いを贈りました

境町は、平成27年9月の関東・東北豪雨災害に見舞われた。被害総額は20億円



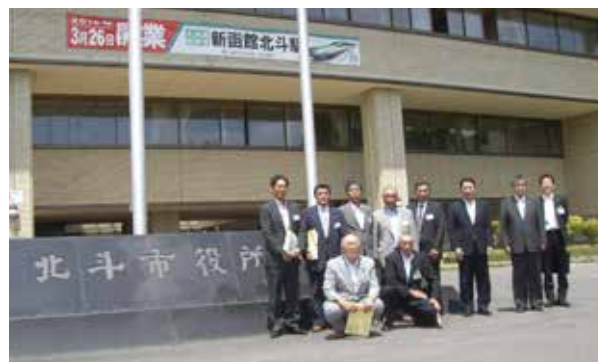
神社に建てられた巨大ガールズパン(大洗町)

大洗町は、東日本大震災後に大手玩具メーカーからの打診を受けアニメ「ガールズ&パンツァー」の舞台になる。元々観光地であったが、震災による風評被害で落ち込んだ観光客増加につながっている。行政主導ではなく、町商工会が主体に商店などが「まちあそび」感覚で観光客の誘客に取り組んでいるのが特徴である。

研修レポート②

「観光誘客と定住促進」「北海道新幹線に向けた観光振興」

※研修月日 平成28年7月20日(水)、21日(木)
※研修場所 北海道北斗市(まちづくり)、ニセコ町(観光と定住)
※参加委員 細谷地多門、上山勝志、川原木芳蔵、茶屋 隆、大村 税、松浦満雄、山本幸男



北海道新幹線開業に向けた観光施策に取り組む北斗市

地域資源を生かし高める

北斗市にある新函館北斗駅は、北海道新幹線で八戸駅から1時間半ほどで着き、思っていたよりも近いと感じた。同市はもともと、観光に特段取り組んで来なかったが、新幹線開業がきっかけで取り組みを始めた。地域の資源をうまく生かし、更に自分たちで考えて魅力を高めようとする取り組みが印象的だった。



報告

上山勝志
副委員長

北海道新幹線開業によって観光施策に取り組み始めた北斗市。新たな観光地づくり、体験型観光、スポーツ合宿誘致に力を入れ、隣接する函館との差別化を図っている。宿泊施設の充実が課題で新幹線駅の乗降客をいかに滞在させるかがポイント。スポーツ合宿では年間4千人超が利用するなど将来への可能性が広がる。

ニセコ町は隣接する2町とニセコ観光圏を形成し「ニセコ」のブランドで世界から観光客を受け入れる。冬季だけでなく夏季の集客に成功。加えて働き手の確保など年間を通じた観光客の受入態勢が整う。近年は移住者も多く、観光資源に加えて働く場の確保が奏功している。

かるまい町に住んでみて

町民インタビュー Vol. ⑤

かくた かおり
角田 香織 さん

矢巾町出身 32歳 行政区：仲町

夫・長男・次男・長女・義父・義母・義叔母の
8人家族

募集しています

このコーナーの出演者を募集しています。主に町外から軽米町に來られた方で、町への提言、思いなどをお寄せください。自薦・他薦は問いません。
議会事務局又はお近くの町議会議員までお問い合わせください。



忘れられない優しさ

☞ 軽米町に來るきっかけとそのときの思い出は？

結婚を機に軽米町に越してきました。初めての土地で不安もありましたが、近所の方々が優しくしてくださりととても嬉しかったことを覚えています。山々は緑がきれいで雪谷川の景色もとても気に入っています。

子育てしやすい町

☞ 住んでみての感想は？

子育て世代の親にとっても住みやすい町だと思います。18歳まで医療費は無料だし、幼稚園の保育料が安いなど経済的に助かっています。小学校では放課後教室が利用でき、毎朝スクールガードの方々がいてくれるので安心して学校に送り出せます。また長男は生後3か月からピヨピヨ教室にもお世話になりました。そこで子育て中のお母

さんと仲良くなり、子育て

の相談など情報交換ができて

ありました。いろいろな面で行政、地域の方々に助けられて

思いっきり遊べる公園

☞ 町にあつたらいいなと思うものは何ですか？

子供たちが遊べる場所が近くにないのが残念です。遠くに行かなくても、身体を思いっきり使って遊べる、遊具のある公園があるととても嬉しいですね。

活気ある町に

☞ どんな町になってほしいですか？

ここ数年でスーパーやコンビニができ暮らしやすくなった反面、街中は閑散として人通りがなくな寂しく感じます。お祭りや町内行事などを通じて地域の方々の関わりを大切に、もっと活気ある町づくりを目指してほしいです。

かるまい
議会だより

発行日 平成28年10月26日発行 (No.207)
発行 軽米町議会
編集 議会報編集委員会
〒028-6302 岩手県九戸郡軽米町大字軽米 10-85
TEL 0195(46)2111 / FAX 0195(46)2335
URL <http://www.town.karumai.iwate.jp/>

議会報編集委員会

委員長	隆志男
委員	正幸
委員	満雄
委員	志つ
委員	茶屋
委員	中村
委員	山本
委員	松浦
委員	上山
委員	田村